

千葉県 創薬・先端医療、バイオ分野における地域産業クラスター計画の概要

1. 産業領域

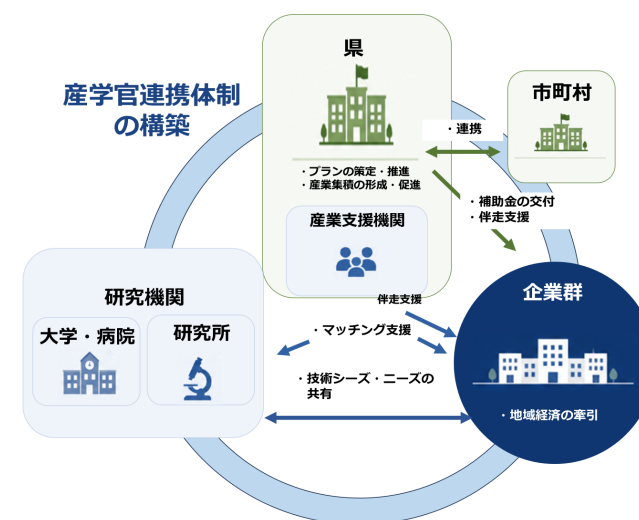
創薬・先端医療、バイオ産業

＜特定理由＞

- ・創薬・先端医療分野は成長産業、バイオ分野は次世代の成長産業であり、大きな経済成長が見込まれる。

2. 対象エリア

- ①創薬・先端医療分野：千葉・かずさ、柏の葉地域
- ②バイオ分野：千葉・かずさ地域



3. 目指す姿（目標）

（１）現状の整理

- 創薬・先端医療の分野では、臨床研究中核病院（全国で16か所）を持つ、千葉大学及び国立がん研究センター（柏キャンパス）が立地し、周辺への企業集積が進んでいる。
- バイオ分野では、千葉大学やバイオリフサイエンス分野の基礎研究をリードするかずさDNA研究所、世界トップクラスの微生物数を保有するNITEバイオテクノロジーセンターをはじめ、中核的な研究機関等が集積している。

（２）目指すべき目標（R8～12）

- 官民設備投資額：2,100億円（R12：420億円）
- 付加価値増加額：556億円（R12：222億円）
- 雇用創出数：432人（R12：108人）
- 産業人材育成数：130人（R12：32人）

※官民設備投資額は千葉県調べ。

付加価値増加額と雇用創出数、産業人材育成数は、官民設備投資額を基に千葉県において算定。

4. 勝ち筋

（１）基本戦略

- 産学官連携をベースとしたネットワーク体制により、技術シーズ等の共有や官民一体となった支援を提供することで、県下における研究開発を加速させる。
- 千葉大学、国立がん研究センター（柏キャンパス）、かずさDNA研究所、NITEバイオテクノロジーセンターをはじめとする研究拠点等を中心に、企業誘致等により、周辺に開発・製造を行う企業を集積させる。

（２）目指すべき姿

- ①創薬・先端医療分野
 - ・医療機関を含む研究機関と先端医療産業企業を中心にした世界有数の先端医療産業クラスターの確立。
- ②バイオ分野
 - ・研究機関と企業を中心にしたバイオ産業クラスターの確立。

5. 政策手段

（１）取組に向けた課題

- 県内には、研究開発拠点が集積しているが、各機関や企業が持つポテンシャルの共有が十分に進んでおらず、それぞれが取り組んできた研究成果が十分に活かされていない。
- 積極的な企業誘致施策を展開し、更なる企業立地やスタートアップの育成を図ることで、製造拠点の整備・集積を目指すとともに、産学官ネットワークをさらに強化する必要がある。

（２）講じるべき政策パッケージ

- 産学官連携の促進
- 研究開発力の強化・人材育成
- 戦略的な企業誘致の促進
- スタートアップ等への伴走支援
- 規制緩和や各種手続の合理化・迅速化